

令和5年度

# 国内研修団報告

令和5年度札幌市PTA協議会国内研修団は11月25日から27日の2泊3日の日程で、自己啓発と札幌市PTA協議会の資質向上を図ることを目的として大阪市を研修訪問させていただきました。

## 大阪市PTA協議会訪問

大阪市PTA協議会役員の皆様と札幌市PTA協議会を中心に同市で行われているPTA活動紹介や様々な情報、意見交換をさせていただきました。特に大阪市PTA開催のスポーツ大会の取り組みを通じての次世代の人材発掘・育成を興味深く聞かせていただきました。

## 阿倍野防災センター視察

阪神・淡路大震災を経験している土地であり、地震の恐ろしさを視覚で分らせる工夫を凝らした展示がよかったです。また地震体験装置があり皆で体験しましたが、くると分かっているにもかかわらず揺れに、災害対策が必要なことを改めて実感しました。

## 義務教育学校生野未来学園訪問

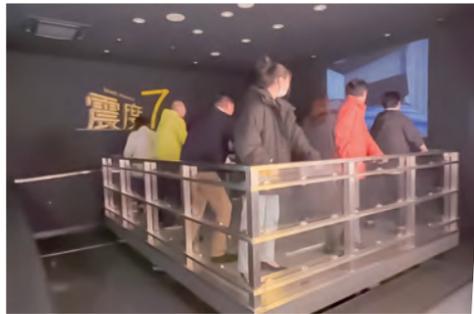
札幌でも実施が始まっていて、今後増加していくであろう義務教育学校の取り組み、義務教育学校のメリットを色々伺うことができました。また実現するまでと実現してからの現在進行形での地域との関わりの重要性を強く感じる事ができました。



今回の研修で色々なことを学ばせていただきました。この研修で経験したことを今後のPTA活動に活かしてまいりたいと思います。最後に国内研修に参加させていただきましたことに感謝申し上げます。  
(国内研修団 団長 鬼塚 和俊)



◀国内研修団報告書はホームページの各種資料集からご覧ください。パスワードは「231125」です。



編集後記座談会 with ナカノくん

## 永遠のテーマ？ 役員選考とボランティア化

そろそろ年度末。PTAの運営や活動に携わる方々は次年度のことが、そうでない方も次年度に声がかかったらどうしようかと悩む時期ではないでしょうか。今年度、市内のPTAに行ったアンケートで「他のPTAに聞いてみたいことはありますか?」の問いに複数寄せられた質問が「役員選考」と「ボランティア制」についてでした。どの学校でも共通の「なり手」不足のお悩みについて本紙3回目の登場になるナカノくんと広報委員で話してみました。



広報委員長

### 役員選考ってどうしてる?



さっそくですがこんな質問をいただいています。「うちの学校ではPTAの役員選考が毎年難航します。他の学校ではどのように行っていますか。何か良い方法があれば知りたいです」ということなんです。

- 広報委員A**  
うーん、役員を選考はどの学校でも悩みの種かもしれませんね。
- 広報委員B**  
そうですね、役員募集っていわばボランティア活動のまとめ役の募集ですね。まとめ役って聞くだけで、ちょっと大変そうですね。
- 広報委員C**  
うちは「PTA事務局が何をやっているのかわからない」と言われたので、活動内容を書いたプリントを作成しました。
- 広報委員D**  
うちもです。コロナ禍を経てPTA活動そのものを知らないご家庭が増えたので、そもそも何をやっているのかを丁寧に伝える必要があると思っています。
- 広報委員E**  
私は過去に積極的にボランティアに参加し

- てくださった方に声をかけることが多いですね。そのほうがいいお返事が多い気がします。野球やフットサルのPTAサークルがある学校は、その中から役員をやっている方が出ているそうです。
- 広報委員F**  
役員選考委員って、事務局のことをわかっていてくれる方がいるので、私の学校では役員OBをお願いしています。クラス代表の中から役員選考委員を決める学校や、一人一役活動に委員を入れる学校もありますね。
- 広報委員C**  
「やってみませんか」とアンケートをとって「興味あり」「やってみてもいい」「他に誰もいなければ…」と回答した人に声をかけていると答えてくれた学校もありました。ほかにも現役員の知り合いに声をかけることが多くなってしまふ、というリアルな意見もありました。

みなさん様々な情報をありがとうございます。私は「忙しくない保護者はいない」と思っています。みんな仕事に、子育てに、忙しい中で自分のできることを探して下さっているからこそ、その活動にかかる時間、活動の意味、活かせる経験を丁寧に説明するステップは、これからさらに大切になってくるのたろうと感じました。



### 都度募集のボランティアさんって、どうしてる?

さて2つ目の質問です。「よりスリムなPTA組織にするために年間を通じてやっていただく役員を減らして、都度募集するボランティアさんの割合を増やしました。ただ、大きなイベントなど運営に一定の人数が必要になる場合にボランティアさんが来てくれるか不安です。みなさんの学校ではどうしていますか?」という質問です。



- 広報委員C**  
アンケートでも同じ悩みが多かったですね。ある学校では都度募集するボランティアの割合を増やしたほうが、「義務感」ではなく「希望して」参加して下さる方の割合が増えて活動が濃くなったそうです。
- 広報委員E**  
役員の人数を減らしてボランティアを都度募集する流れは割と目につきましたね。
- 広報委員A**  
私の所属する学校は来年度から都度募集のボランティア制に移行します。小規模校ゆえに意思疎通がシンプルなのでボランティアも集まりやすいと思っていましたが、中規模・大規模校はまた別の問題がありそうですね。
- 広報委員B**  
こんな学校もありました。「時代の変化に合わせてつとも、人数が読めない都度募集の

- ボランティアよりも委員会体制のほうが、子どもたちへ安定した支援ができるかと判断して、もう一度委員会体制を立ち上げようとしています」という声です。役員制から都度募集するボランティア制に移行するばかりが正解ではないのだと感じました。
- 広報委員D**  
ナカノくん、質問して下さった方は都度ボランティアの方が来てくれるかどうか心配なことですよ。希望の集約方法を工夫することですよ。希望のプリントを配布して回答してもらったり方から、Googleフォームでの募集にきりかえるのもあります。
- 広報委員F**  
そういう小さな情報やノウハウの共有、もっとしたいですね。アンケートでも「情報が欲しい」という声が多かったです。募集の仕方、少人数での運営方法など、事例集が欲しいという声もありました。

いろいろな意見が出るテーマですよ。年度を通じて活動して下さる役員さん然り、都度募集のボランティアさん然り、足りない・少ないと捉えず、手を挙げて下さった方々の人数に活動の規模を合わせていく視点も大切かもしれません。一方で、登下校の見守り活動など、そんなふうには割り切りたくない、つまり、腕まくりしてくれる保護者さんをできる限り集めたい活動もありますよ。何が正解かは時代の中で変わっていきます。先ほど、活動を丁寧に説明するという話をしましたが、それって広報委員のみならずみなさんのお仕事でもあると思っています。今年度の活動はゴールが見えてきましたが、来年度もよろしくお祈りしますね。



ナカノくん、承知しました。来年の委員に引き継ぎますね。ところでナカノくん、この記事をもって今年の広報紙も終わりなので記念撮影をしてもらえますか?



お安い御用です。どこに座ればいいですか?



あ、いえ、ナカノくんは肖像権とか画像合成とかの問題があれなので、今日はシャッターを押してほしい的なオーダーなんですけど…。というわけでみなさま、今年度も「広報紙PTAさっぽろ」をお読みいただきありがとうございました。また来年度もよろしくお祈りいたします。

